

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立伊志田高等学校長

令和4年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	情報化やグローバル化が進展する社会を生き抜く資質・能力を育成するために、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、それらを活用する能力の向上を図る。	①生徒の更なる主体的・対話的な深い学びの実現を目指す。 ②情報化・国際化社会において、自分の考えを世界に発信し積極的に活躍する人材を育成する。	①生徒が主体となり、考えを深めることのできるような課題を定期的な与え、学習活動の習慣化を目指す。 ②ICTの一層の導入を進め、生徒の表現力とコミュニケーション能力の向上を図る。	①定期試験や外部試験において生徒の学力の伸長が見られたか。 ②生徒が積極的にICTを活用する中で、主体的な学びを実現し、表現力やコミュニケーション能力の向上が見られたか。					
2 生徒指導・支援	生徒一人ひとりの個性、学校や家庭、地域で生徒を取り巻く環境を踏まえたきめ細かな生徒指導・支援を行う。	①生徒の生活習慣の確立や規範意識の向上に向けた指導を行い、安全・安心な環境の整備に取り組む。 ②生徒会行事の活発化や部活動の活性化を通じて生徒の主体性・積極性を育成する。	①一人ひとりを観察・対応し、日々の継続的な指導により、いじめ等の未然防止を図る。 ②コロナ禍において、十分な感染対策を講じ、生徒会行事や部活動を実施する。部活動の活性化を図るため、適切な環境整備を行う。	①いじめ防止に向けた取り組みを推進し、職員全体で早期発見、未然防止を図ることができたか。 ②感染対策を講じながら生徒会行事や部活動を実施し、生徒の主体性や積極性を引き出すことができたか。					
3 進路指導・支援	生涯にわたって自己実現できるようにキャリア教育を充実させ、その上で、高校卒業後の進路指導・支援を行う。	①生徒が自立的な進路選択や将来設計のもと進路志望が決められるよう進路指導を充実させる。	①大学模擬授業をはじめとした各種ガイダンスや模擬試験等の充実を図り、生徒が自立的に卒業後の進路選択ができるよう支援していく。	①第一志望の進路先に進路を決定することができたか。					
4 地域等との協働	学校運営協議会や保護者、地域との関連機関等と連携し、学校の教育活動をさらに充実させる。	①地域の財を学校の教育活動に活かし、学校の域を出た幅広い教育活動を行う。	①国際理解講演会、東海大学留学生や日産テクニカルセンターの社員との交流等を通して、知見を広げる。	①生徒の国際理解への関心が深まったか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	事故・不祥事の防止に努めるとともに、生徒が安心して学習や様々な活動に取り組めるように、安全な環境を整備・維持する。	①風通しの良い職場環境を保持し、事故・不祥事を防止する。	①職員全員が自分事として問題意識を持つよう、各グループが担当し、事故防止会議を開催する。	①職員間の連携が図られ、事故・不祥事を防止できたか。					